

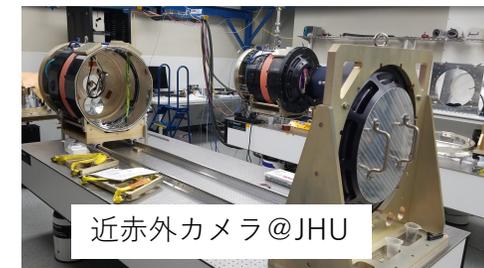
目標位置からの残差



ファイバーケーブル in Brazil



可視カメラ@LAM



近赤外カメラ@JHU

[装置開発進捗状況]

V214a, V215a, V216a, V224b

- ✓ 望遠鏡上試験 (2021年9月)、試験観測 (2021年11月) を実施
 - ✓ 主焦点面に設定した位置に対し、ベストで >95% のファイバーで10umの精度を達成。安定化が今後の課題
 - ✓ ガイド機能は大まかな動作は確認したが、ソフトウェアの修正と観測中に発生した主焦点装置のトラブルで完了せず
 - ✓ 次の試験観測は2022年5, 6月: ガイド機能試験の完了、ファイバー配置の安定化、天体スペクトルの取得が主な目標
- ✓ ハードウェア開発現状
 - ✓ 試験観測中に主焦点装置のCWのスイッチが破損。2022年4-5月にASIAAが修理予定
 - ✓ ファイバーケーブル2本目はハワイ観測所に輸送済。ブラジルで組み上げ中の3, 4本目は3月に輸送審査予定
 - ✓ 分光器は可視カメラのアライメント補正・光学系の洗浄を行いLAMで測定をしながら再組み上げ中
近赤外カメラはJHUで1,2台目の組み上げ中。1台目は輸送前試験をまもなく開始、春にLAMに輸送予定
→ 夏に分光器2台目 (可視カメラのみ)、3台目 (フルセット) の輸送と組み上げが目標
- ✓ ソフトウェア開発状況
 - ✓ SuNSS、較正光源の長期的なデータを使って較正の安定性を図っている
 - ✓ Flux 較正は次の観測データで試験できるように準備中。Flux較正用の天体の選定も進行中 (V224b)。
 - ✓ スカイファイバ用のカタログも開発している
 - ✓ ターゲット・視野中心選択ソフトウェアやファイバー配置設計用のデータベース開発 (V216a) も進んでいる
 - ✓ 装置制御ソフトウェアの統合も進行中。ヒロでの即時解析環境も整いつつある

[サーベイ計画立案進捗状況]

- ✓ SSPプロポーザル執筆中 (装置性能以外の部分はほぼ完成)
- ✓ サイエンス会議を2021.09、2022.01に開催

[その他]

- ✓ 近赤外カメラの納入予定時期から2024年前期科学運用開始にスケジュール修正
- ✓ コラボレーション会議 2022.03.22-24 にオンライン開催
- ✓ 参加登録は[tennet:20627]/[gopira:01536] を参照

● コラボレーションへの参加登録はこちら: https://pfs.ipmu.jp/research/regist_collab.html